

とんぐい村の こみ・すく通信

令和2年2月21日発行 第17号
更別村コミュニティ・スクール委員会

みんなの学校応援団 の活動を紹介<その13>

「なりたい中学生になる」

2月20日。更別小学校6年生と上更別小学校6年生合同で、さらべつほーぶの皆さんによる道徳の授業がありました。

主たる授業者は三浦さん(保健福祉課)で、山田さん、小林さん、野々村さん、宿田さんもサポートで加わっていただきました。

1コマ目。まずはどんな中学生になりたいかをイメージして、「目標達成シーン」を絵に描きました。イメージを膨らませたり、切り貼りしたりするためのイラスト集も用意され、「小さな目標でもいい」「できるだけ



具体的な方が実現しやすい」「前向きな言葉を入れるといい」などの助言もいただきました。

2コマ目は消極的な自分を前向きに変えるトレーニング。「算数の時間、先生が問題を出した。答えが分かったけれども、もし間違えていたら恥ずかしいので、手を挙げるかどうか迷っている」という場面設定で、否定的にとらえ、消極的になってしまいがちな自分に対して、良いところを見つけ前向きに行動する自分になれるようにロールプレイ(役割演技)で学びます。

子どもたちは、ワークシートに書き込んだ答えだけでなく、アドリブでセリフを加え、しっかりと自分の課題としてとらえ、演技しているところがすばらしかったです。

最後に「感想発表」を求められ、なかなか手が挙がらない「消極性」がうかがえたのもご愛敬。今日の授業を参考に、これから練習や経験を重ねて、前向きになってくれるものと思います。



【さらべつほーぶ劇団(?)の皆さんの模範演技】

「上更小第3回学校運営協議会」

同日。上更別小学校では、本年度3回目の学校運営協議会が開催されました。



中村校長先生からは、2学期末の学校評価について説明がありました。その中では、基礎的な学力や生活習慣には向上が見られるものの、読書習慣の定着に課題があるとのことがありました。学校でも図書室の環境改善に努め、移動図書の貸出率も高いのですが、なかなか習慣として定着しにくい。新年度に向けては、定期的な読み聞かせの導入など、新しい取り組みも用意されているということでした。

委員の皆さんからは、学習発表会での児童の活躍に地域からも高い評価が寄せられていたこと。学校生活における学習と行事のバランスが良いこと。更別小学校との交流活動が素晴らしい。可能であればさらに機会を充実させてほしい、などの意見が出されていました。